

## エビデンスレベル分類、勧告の強さの決定

### エビデンスレベルの分類

- Ia** システマティックレビュー/メタアナリシス
- Ib** ランダム化比較試験
- IIa** 非ランダム化比較試験
- IIb** その他の準実験的研究
- III** 非実験的記述的研究（比較研究、相関研究、症例対照研究など）
- IV** 専門科委員会や権威者の意見

AHCPR\* (Agency for Health Care Policy and Research) 1993

\*現在の AHRQ (Agency for Healthcare Research and Quality)

### 勧告(お勧め度)の強さの分類

- A** 行うよう強く勧められる
- B** 行うよう勧められる
- C** 行うよう勧められるだけの根拠が明確でない
- D** 行わないよう勧められる

厚生科学研究費診療ガイドラインの作成の手順 4.3 2001

\* 勧告の強さは以下の要素を勘案して総合的に判断する

1. エビデンスレベル
2. エビデンスの数と、結論のばらつき
3. 臨床的有効性の大きさ
4. 臨床上の適応性
5. 害やコストに関するエビデンス

厚生科学研究費診療ガイドラインの作成の手順 4.3 2001

## 検査の有用度(efficacy)の階層分類

- E1** Technical efficacy
- E2** Diagnostic accuracy efficacy
- E3** Diagnostic thinking efficacy
- E4** Therapeutic efficacy
- E5** Patient outcome efficacy
- E6** Societal efficacy

RSNA evidenced-based radiology working group (Radiology 2001;220:566-575)